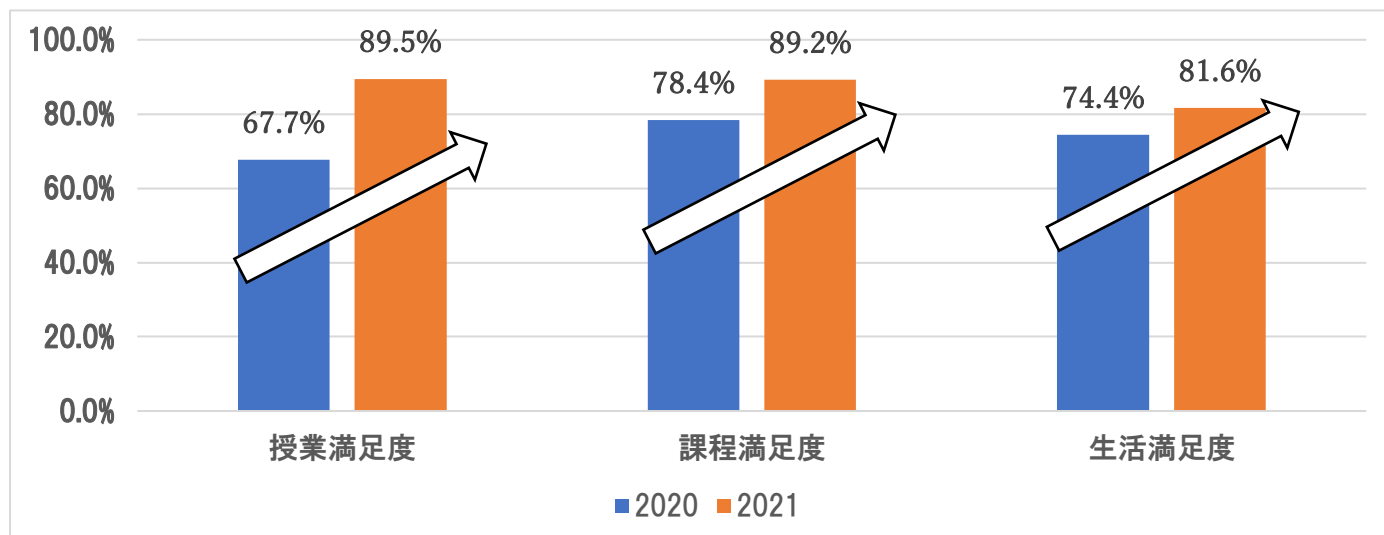


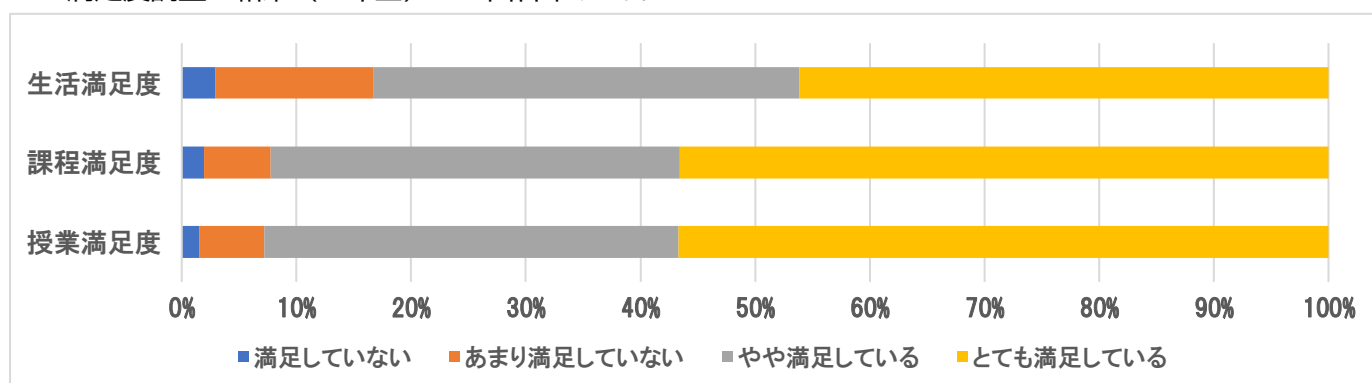
2021 学生調査の結果

1. 満足度調査の結果（全学年） ※回答率 92.7%



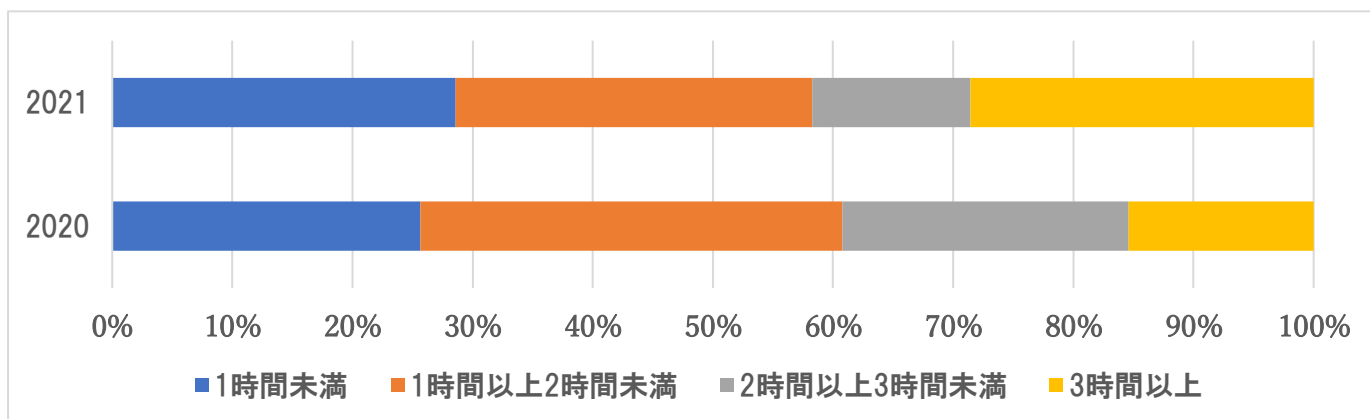
昨年度と比べ、3項目とも上昇しました。特に、授業満足度と課程満足度が大きく伸びた要因としては、コロナ禍の経験をもとに、感染対策を万全にしつつ、IPU オリジナルのブレンド型授業（対面授業とオンデマンド授業の組み合わせ）を行ってきたことが考えられます。これからも在籍生の期待に応えられるよう、教職員一同、努力を重ねたいと思います。

2. 満足度調査の結果（4年生） ※回答率 94.5%



上記は令和4年の3月に卒業した4年生の結果です。授業・課程満足度に関しては、90%以上の回答者が「満足している」を選んでくれたことが分かります。コロナ禍の中、良い形で4年間を締めくくってくれたことに安心しました。生活満足度がやや低くなったのは、コロナ禍の不便さが影響していると思われるので、在籍生の満足度を高めたいと考えます。

3. 学修時間の変化（全学年） ※回答率 92.7%



前年度に比べ、「1日に3時間以上学習している」と回答した学生の割合がほぼ倍増したことがわかります。学修時間が必ずしも学力や学習意欲と相関するわけではありませんので、手放しに喜ぶことはできませんが、「欧米に比べ日本人大学生は勉強しない」と言われていることを考えると、良い結果が出ていると言えます。上表でも卒業生の授業・課程満足度が上昇しているため、コロナ禍にあって、就職対策に真摯に取り組んだ4年生の影響を受けているものと考えられます。3年生以下の学生にも、この結果を手本にしてもらいたいと思います。

以上